

学校だより

6月号

【発行責任者：
学校長 小野】

学校教育目標

「心豊かで、たくましい東つ子

（考える つながる きたえる）の育成」

全校児童130名の大きな成長に向けて、保護者や地域のみなさんに支えられながら、教職員18名で最大限の努力をしていきます。

◇「考える」とは・・・やる気

学力の確かな定着に向けて、楽しく学ぶことでわかりやすい授業に努めます。また、保護者とともに「家族読書やノーマディアデー」に取り組みます。

◇「つながる」とは・・・こんが

全校のかかわり（縦わり班）を通して、楽しい学校づくりに取り組みます。保護者とともに学校公開日の参加率を高め、挨拶運動にも取り組みます。

◇「きたえる」とは・・・げんが

進んで運動する児童を増やし、体力向上に努めます。その一つとして「なかよし公園」を活用します。保護者には、愛校作業を通して「なかよし公園」の整備をお願いします。

『スクールカウンセラー』

（教育相談）について

学校は様々な機関や多くの方のご協力のもとで成り立っています。

その一つがこの事業かと思えます。週に1回（水曜日）スクールカウンセラーの先生が訪問してくださいます。

「カウンセリングとは」

悩みや問題を解決するためのものです。たとえ、すぐに答えが見つからなくても、カウンセラーと話すことで気持ちがおとなったり、ほっとしたりします。自分の問題を解決するためのエネルギーをためていく応援をするのです。

◇保護者の方も話してみようという方はご相談ください。（カウンセラーの先生が学校に来られているか、確認が必要です）

生徒の「詩」に出会いました

△覚えてるよ△

中一・秋葉貫之

先生はほくに言ったね

「きみはどこか見どころがある」って。

スポーツテストの日、砂場でさ。

ほく覚えてるよ。

家庭訪問の日

先生は母に言ってたね。

「この子はねばりづよいです」って。

ほく覚えてるよ。

卒業式のあと

先生はほくたちに言ったね。

「なんでも相談にこい。迷わずこい」って。

ほく忘れてないよ。



先生の一言一言がとても大切で、生徒はよく覚えてるものです。